

「とちぎの子ども育成憲章」の実践

活動名	下野市青少年育成市民会議主催 子どもなんでも発表会		
年月日	平成23年11月23日	場所	下野市立古山小学校
参加者	子ども、保護者、一般市民	人数	90人

関連する憲章の条文

子どもたち一人ひとりを尊重し命を大切にします

実践の内容

今日、諸外国に比べて日本の子どもたちは自分に自信のない、自己肯定感が持てない子が多いと言われていす。その理由の一つに、日本では一斉に同じことをさせて順位を付ける場合が多いからではないかと考えられます。

そこで、子どもたちが自主的に好きなこと、やりたいことを何でも発表することで自分に自信を持つことや、学校や地区を越えて、子どもたちの交流の場とすることを目的に「子どもなんでも発表会」を実施しており、今年で4回目となりました。



今回は、個人・団体で13組23名の児童の参加がありました。内容もさまざまで、ピアノ・ヴァイオリン・鍵盤ハーモニカの演奏や歌、ダンス、手品などの得意技が発表されました。

参加した児童たちは日頃の練習成果を大勢の観客の前で堂々と披露し、観覧者も子どもたちが一生懸命取り組む姿に「わくわくドキドキ」大きな感動を受けていました。



発表終了後には、会場の全員でバルーンアートパフォーマーの菊池先生とさまざまなモデルをつくり、交流を図りながら楽しいひと時を過ごしました。そして、参加児童全員に表彰状が授与され、勇気と行動を讃えました。